

# IGUJKO

宮城県伊具高等学校PTA会報  
No.112 '26.3.1  
宮城県伊具高等学校PTA  
伊具郡丸森町雁歌51  
TEL.0224-72-2020  
URL <http://igu.myswan.ed.jp/>

'25-2



# 卒業 おめでとう



『ありがとう』

PTA会長 本田 里恵



会員の皆様には、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。卒業生の皆さん、

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。これまでのPTA活動へのご支援に深く感謝申し上げます。私自身、6年間PTA役員として活動させていただきました。今年度は、子どもの卒業とともに私にとっても本校を卒業する節目の年となります。多くの皆様に支えられ、貴重な経験を重ねられたことに感謝しております。今年度は特に、全国高P連三重大会で本校が表彰を受ける成果がございました。私も代表として参加させていただきました。本校が全国的に評価されたことを実感する、大変貴重な機会となりました。また、伊具高祭では模擬店の出店に取り組み、子どもたちの活気ある笑顔に触れながら、活動の楽しさや充実感を改めて感じる事ができました。卒業生の皆さん、高校生活で得た経験は、今後の人生の支えとなるはず。それぞれの場所で、自分らしく、歩みを大切にして進んでいかれることを心より願っております。在校生の皆さんも、学びや仲間との時間を大切にしながら、自分の可能性を少しずつ広げてください。努力や挑戦は必ず自分自身の力となります。最後にありますが、これまでPTA活動に関わってくださったすべての皆様に感謝するとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

『ありがとう』

校長 佐藤 真



春の訪れが感じられる季節となりました。PTA会員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本日卒業の日を迎えられた生徒の皆さん、そしてご家族の皆様、誠におめでとうございます。卒業生の皆さんの前には前途洋々たる未来が広がっています。これまで培った力を存分に発揮して欲しいと願っております。さて、今年度も本校では「地域社会の未来を託せる『生きる知恵』を持った人材の育成」を教育目標に掲げ、総合学科としての特色を活かした多様な教育活動を展開してまいりました。特に印象深いのは、生徒たちが自らの地域に飛び出し、課題に取り組む姿です。農学、機械、情報、福祉の四系列において、生徒たちは専門的な知識や技術の習得に励むとともに、地域と深く関わる多くの実践的な学びを積み重ねてきました。具体的には、昨年度までの「丸森・伊具高魅力化プロジェクト」を進展させ、今年度からは「地域企業や公共団体とともに学ぶ、系列横断型の課題解決型学習(探究学習)」を本格化させました。共通テーマを「キャンブ」として地域企業との協働学習を開始し、系列の枠を超えた総合的な探究活動を実現しました。授業においては「DXハイスクール」として他校との遠隔授業に新たに取り組むなど、校内にとどまらない多様な学びの実践は、生徒たちが「主体的に考え、行動する力」を育

む大きな一助となりました。

そのような中、PTA活動を振り返りますと、春の総会をはじめ各委員会活動、伊具高祭への参加や「朝の一声運動」など、多岐にわたる活動を通じて学校教育の円滑な推進を支えていただきました。こうした皆様の活動が生徒たちに与える良い影響は計り知れないものがあり、改めて深く御礼申し上げます。

おわりに、今日まで生徒たちを温かく見守り、支えてくださったPTA会員の皆様、そして地域の皆様に重ねて感謝を申し上げますとともに、伊具高校がこれからも「地域に愛され、共に歩む学校」として発展し続けるよう、教職員一同尽力してまいります。

今後とも、変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

『必死になって取り組んだ』

三年次主任 関野 良晃



三年次の皆さん、ご卒業おめでとうございませす。まもなく多くの皆さんが社会へと踏み出します。これからは、決められた正解のない場面向き合うことも増えていくでしょう。どうしようもない困難にぶつかるともあるかもしれません。そんなときに思い出してほしいことがあります。

さて、私たちは何のために高校に通うのでしょうか。勉強するため？部活をするため？良い進路先を見つけるため？どれも正解のようですが、全員に当てはまるわけはありません。

伊具高校は、朝の雁歌タイムで基礎基本学習を行ったり、一年次から専門性の高い系列活動で知識や技能を身に付けたりして、個の学習支援に特化している学校です。また、進路活動にも意識的に取り組んでいます。一年次では、工場見学からライフプラン研究といった知らない世界を知る機会があります。二年次では、自身の適性を見極めるインターンシップがあります。そして、三年次では一人ひとりの適性に合わせて、朝から晩まで(時には土日祝日も使った)進路指導を実施してきました。これらの活動は間違いなく、伊具高校に通った価値であり、理由となりえるでしょう。

しかし、私はそれ以上に大切なものがあると感じています。それは、「学び続ける姿勢」です。正直、この三年間は大変、だたと感じている人は少なくないでしょう。勉強や部活、行事や系列に進路といった多くの活動を行ってきたはず。その活動の中で学び得たものは大なり小なり皆さんの経験として蓄積されています。「必死になって取り組んだ」という経験こそ皆さんが三年間で手に入れたもので、これこそどんな将来でも必ず役に立つ力だと思えます。

結びに、保護者の皆様にはこれまでのご支援とご協力で深く感謝いたします。これまでの経験を活かすことはご家庭のご協力なしには叶いません。今後の益々のご発展をお祈りいたします。ご卒業、誠にありがとうございます。



3-1

## 家族へ想いを込めて

Thank you for everything.



## 1 一條 鳳雅

ありがとうございます

## 2 井上 玲央

ここまで育ててくれてありがとうございます。

ヤッバ！

## 3 小野 佑悟

大変お世話になりました！

## 4 駒野 心美

18年間、育ててくれてありがとうございます

## 5 齋藤 心菜

三年間送迎してくれてありがとうございます

## 6 坂本 龍生

楽しい人生をありがとうございます

## 7 佐々木 駿

今までありがとうございます！

## 8 笹森 優風

これからもよろしく！

## 9 佐藤 颯太

今までありがとうございます

これからもよろしく

## 10 佐藤 美唯菜

十二年間、送迎や弁当を作ってくれてありがとうございます

今度は私がたくさん恩を返していきたいと思えます。

## 11 佐藤 怜音

十八年間ありがとうございます

## 12 高橋 琉聖

毎日おいしいお弁当をありがとうございます😊

## 13 原 青蓮

これまで育ててくれてありがとうございます。

まだまだ未熟者だから迷惑かけるけど、少しずつ恩返しします。

## 14 星 桃花

いつも、辛い時に心の支えになってくれてありがとうございます。私も、家族のことを支えられるように頑張ります。

三年間、おいしいお弁当ありがとうございます。大好きです。

いつもありがとうございます

## 15 星 祐稀

18年間育ててくれてありがとうございます

社会人になっても頑張ります。

## 16 若松 彩夏

18年間育ててくれてありがとうございます

社会人になっても頑張ります。

## 17 若松 彩夏

18年間育ててくれてありがとうございます

社会人になっても頑張ります。

感謝

### 3年3組 家族へのメッセージ

**大内重慶**

いつも弁当ありがとうございました！

**小形優奈**

いつもありがとう！！

**尾崎悠衣**

いつもほんとにありがとうー！！

**小島吏功**

自分をここまで大切に育ててくれてありがとう。

**北沼結人**

ありがとう

**草野光来**

送迎ありがとう

**齋藤蒼汰**

送り迎えあざます

**齋藤拓真**

いつもありがとうございました

**佐藤心桜**

いつも変顔してくれてありがとう♡♡  
これからも私の事育ててください♡

**佐藤 陸**

弁当ありがとう

**渋谷法隼**

18年間迷惑かけてごめん ありがとう

**高田凜々花**

まま 18年間育ててくれてありがとう！だいすき

**長谷部碧音**

18年間ありがとうございました！

**宮本聖也**

いつまでもお元気でいてください応援しています

**目黒尚輝**

3年間送り迎えありがとうございました！  
助かりました！

**渡辺 晴香**

ずっと支えてくれてありがとう。  
送り迎えもお弁当も本当に助けられました。  
これからは恩返ししていきます！！



### 3年2組

目標：家族への感謝のメッセージを記入しよう！！

担任 佐藤  
副担 小山  
菅野

清水理奈 体調崩さないようにしてね	高橋妃羅 いつもありがとう あいしてるよ〜♡	佐藤向菜多 いつもありがとう	齋藤俊輝 色々迷惑かけて すいません、 もっと頑張ります
吉田蒼生 18年間ありがとう ございました これから親孝行 していきます	井戸川航大 ありがとう	齋藤駿汰 お弁当美味しかったです。 ありがとうございました。	秋元宙弥 いつもありがとう これからも よろしく
一條いな 困った時は、 相談に乗ってくれ て励ましてくれて ありがとう	齋藤 粹唯 ママ、パパへ 反抗期ここまで 耐えてくれて ありがとう👍	本田誠人 3年間お弁当 作ってくれて ありがとう ございました	松崎沙世 18年間育ててくれ てありがとうこれ からは恩返しして きます
渡邊賢 Thank you every day	毛利蓮音 あざっすあざっす	松浦雄太 "母 ほぼ毎日美味しい弁当 作ってくれてありがとう ございました！ 父 部活手伝ってくれたり 色々ありがとうございました！ 社会人でも頑張っ ていくので宜しくお願い します！"	渡邊海斗 いつもありがとう

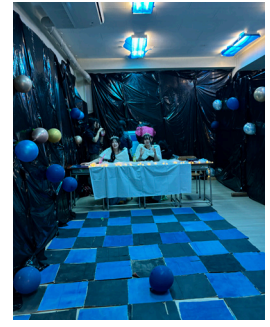


# 伊具高祭

## 青春界限、「まずはありがとう」

文化祭実行委員長 齋藤 粹唯

今年の文化祭のテーマである「青春界限、まずはありがとう」に込められた想いの通り、お越しいただいた皆様に心より感謝いたします。短い準備期間の中、伊具高生たちは学年を超えて協力し工夫を重ね、今年の文化祭をより良いものになるよう努力してきました。そして迎えた当日、地域の方々や沢山の卒業生にも来ていただき、この行事がどれだけの人に支えられて成り立っていたのかを改めて感じました。大変なこともありましたが、笑い合いながら乗り越えた時間こそ最高の青春でした。本当にありがとうございました。

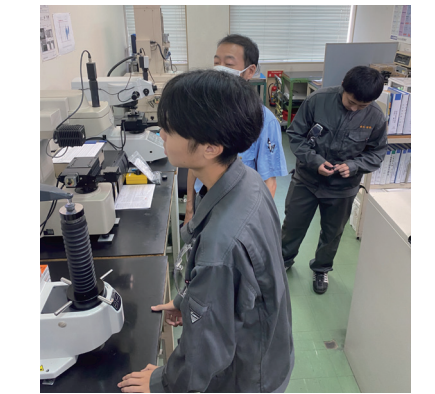


# 2年次インターンシップ

二年二組 菊地 愛莉

インターンシップで学んだことは、コミュニケーション能力と自分で考えて行動することです。積極的に挨拶をしたり、作業の流れを細かく確認したりなど、しっかりコミュニケーションをとることが大切だと学びました。また、分からないことがあったらすぐ聞きに行くなど、自分で考えて行動することが将来はより必要になることが分かりました。

この経験は、今後の学校生活や社会に出た後も大切なことなので、しっかり生かしていきたいです。



# 修学旅行報告

二年二組 佐藤 麻未

私たちは二泊三日の修学旅行で、京都・大阪に行ってきました。

一日目は、京都の清水寺と伏見稻荷大社に行き、京都の綺麗な景色を眺めながら歴史を学びました。お土産を買ったり、食歩歩きをしたり、とても充実した一日になりました。

二日目のUSJでは、クリスマス仕様になったパーク内にワクワクしました。初めてジュラシックパークに乗って友達とびしょぬれになったのが良い思い出です。

三日目は、海遊館とカップヌードルミュージアムに行きました。巨大水槽を泳ぐシンペイザメの迫力はすごかったです。また、カップヌードルミュージアムでは、世界にひとつだけのカップヌードル作りや、カップヌードルの歴史について楽しく学ぶことができました。

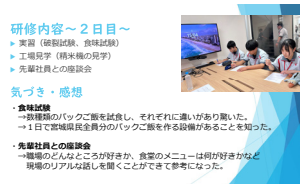
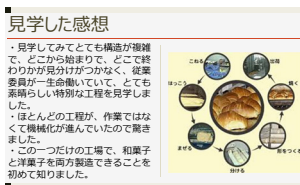
この三日間で、関西の歴史や文化に触れ、学びを深めることができました。また機会があれば関西に行きたいです。

# 学習発表会

一年三組 小湊 陽和

二月十五日(木)に行われた学習発表会で、一年次は「産業社会と人間」の活動報告について、二年次は「インターンシップ、修学旅行」の学習成果の発表でした。三年次は系列ごとに課題学習の成果発表をしました。

この発表の中で特に印象に残っているのは、福祉系列の発表です。福祉系列では、災害などの緊急時の食事や非常食についてまとめられていました。最近では地震などの自然災害が多く発生しているので、生活に役立つ発表だと思いました。



## 第74回全国高等学校PTA連合会大会 三重大会参加報告

参加者 教育運営部 鈴木 悦子  
PTA会長 本田 里恵

8月21日(木)に津市産業・スポーツセンターにて、第74回全国高等学校PTA連合会大会2025三重大会が開催されました。開会行事の後、各種表彰式が行われました。伊具高校PTAはこの度団体として推薦され、表彰を受けることになりました。PTA会長の本田里恵様が受賞式に参加されました。全体会のスクリーンに表彰される団体名・代表者名が映し出され、会場全体より拍手をいただきました。朝早くからの挨拶運動や夕方からの会議・広報誌の編集、文化祭や講演会の企画など、連絡を密にし、活動して頂いたことが思い出され、また今後も続くことを願いながら、撮影と拍手をいたしました。

午後の分科会では、本田様と共に第4分科会に参加しました。「Let's PTA!」これからのPTA活動を考える」というテーマで、一般社団法人オセツカイダー代表のレモンさんに講演を頂きました。レモンさんは、私たちに、「親、学校、地域がお互い様、お陰さま、お世話様で繋がりが、優しくて、熱く、カッコイイ大人であってほしい」として、その大人達に支えられて、子供達が『生きる力』を身に着けることになる」と語りてくれました。東日本大震災の際は東北の地にも足を運び、被災地の方々と共に過ごした経験も話されました。三重という地で得た多くの体験・経験を元に、今後もPTA活動に取り組んでいきたいと思えます。



## 編集後記

広報委員長 大槻 康二

三年生の皆さん、並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。これから進学、就職とそれぞれ新たな道へ歩み始めます。Mr. Childrenの「終わりのなき旅」という曲の最後の歌詞に「もっと大きなはずの自分を探す 終わりのなき旅」という私の好きな歌詞があります。この歌詞のように、高校生活で培ったことを活かし、より人間として成長し、社会で活躍することを願っております。広報発行にあたり、お忙しい中、先生方にはご尽力いただきありがとうございました。